

第 17 回「日本薬剤学会 製剤技師認定試験」実施のご案内

試験実施日：2026 年 11 月 14 日（土曜日）

本学会では、製剤に携わる方が、業務上必要とされる基礎知識および専門知識を修得し、近い将来、職場におけるリーダーとして活躍できる素養を認証するために「製剤技師」認定制度を立ち上げました。これまでに 16 回の認定試験を行い、すでに 360 名以上の「製剤技師」が誕生しています。以上の本制度の主旨と以下の概要をご理解のうえ、ぜひ奮って受験されますよう、お勧めいたします。

また、準備を早期に開始して頂くことを期待して、6 月末までに申し込みの方には、受験料を 11,000 円減額致します。本試験に合格し所定の申請手続きをされた方には、日本薬剤学会認定製剤技師の称号と認定証が授与されます。また認定者のうち学会非会員の方には 1 年間、年会費無料で会員と同じように年会・講習会への参加及び学会誌送付などの特典が得られます。

製剤技師認定委員長 登美齊俊

受験資格：製剤関連業務に 5 年以上従事した方

医薬品・食品・化粧品などの企業、並びに病院、大学、その他の研究機関において、製剤関連業務に実際に 5 年以上（学生・大学院生の期間は含まない）従事した方、またはこれに相当する実務実績を有する方（所属長の証明書が必要）が受験可能です。（ホームページの「製剤技師認定制度について」をご覧ください。）

<https://www.apstj.jp/pharm-engineer/about/>

試験の形式と問題の構成／時間配分

	出題分野	問題数		出題分野	問題数	
					必須	選択
基礎編	物理薬剤学	8	応用編	経口投与製剤	4	10
	生物薬剤学	8		注射・眼投与製剤	4	10
	製剤学	8		その他の製剤	4	10
	レギュレーション	6		（製剤に必要な専門的知識）		
	（製剤の基盤となる知識）					
問題数		30 問			30 問	
試験時間：75 分		試験時間：90 分				

*なお、配点は一問につき、基礎編は 2 点、応用編は 3 点で、実務実績を重視しています。

第 1～16 回の全問題と正解及び第 17 回目の試験出題項目、参考図書などはホームページの「製剤技師認定制度について」をご覧ください。

<https://www.apstj.jp/pharm-engineer/about/>

受験申込期間：早期受付の場合、受験料が「11,000 円減額」になります。

早期受付：2026 年 5 月 1 日（金）～ 6 月 30 日（火）

後期受付：2026 年 7 月 1 日（水）～ 10 月 31 日（土）

試験日・試験会場

試験日：2026 年 11 月 14 日（土）13:00～16:20

試験会場：東京会場・味覚糖 UHA 館 TKP 浜松町カンファレンスセンター（予定）

大阪会場・TKP 新大阪ビジネスセンター（予定）

受験料(消費税 10%含む)

会員：33,000 円、非会員：44,000 円。

*早期受付の場合「会員：22,000 円、非会員：33,000 円」となります。なお、申込後の受験料の返却は原則として行いません。

合格時の「日本薬剤学会認定製剤技師」の認定料は、会員・非会員とも 22,000 円(消費税 10%含む)です。